



浜田ダム再開発工事

平成28年2月1日発行

第5号

■JVあいさつ（工事現況）

あけましておめでとうございます。平素より地域の皆様には大変お世話になっております。本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

今年度は暖冬の模様と予想されていましたが、去る1月24日より日本列島、特に西日本を中心に大寒波が襲い、浜田ダム周辺も、一面雪に覆われました。

工事の都合により、地域の皆様には仮設道路を迂回して走行していただいております。降雪・凍結時には迂回路の除雪及び融雪剤散布を実施しておりますが、日没から早朝は路面の凍結が予想されます。何卒、安全運転で走行していただきますようご協力をお願いします。

まだまだ寒い日が続きます。地域の皆様におかれましては健康に留意していただきまして、本年も良い年でありますよう心より願っております。



1月26日 浜田ダム積雪状況

■浜田ダム再開発工事現況

ダム上流 平成27年10月



平成28年1月



第二浜田ダムの※試験湛水のため、浜田ダムより約30億リットル（東京ドーム約2.5杯分）を放流し、それにより水位は標高138mから108mへと下がりました。今年から浜田ダムはゲート进行操作することなく、第二浜田ダムと連携して洪水調節を実施します。

減勢工 平成27年10月



平成28年1月



減勢工は、第二浜田ダム試験湛水に伴い、写真のように完全に水没しています。減勢工の工事再開は貯水位が低下し、減勢工が水面上に現れる今年の5月頃からの予定です。

ダム下流 平成27年10月



平成28年1月



上段の写真は、約5m³/sの放流を行っている状況になります。下段の写真は、第二浜田ダム試験湛水により、水面がほぼサーチャージ水位104mにある状態となり、浜田ダム上流側と下流側の水位はほぼ同じになっています。

※試験湛水・・・ダムの最大貯水位まで水を貯めて、ダムの機能に問題ないか確認するための試験。

■工事トピックス

『クレストゲートの撤去、越流部分のコンクリート取壊し』

浜田ダムのクレストゲートはダムの頂部にあります。クレストゲートはダムの中標高部にあるコンジットゲートで調節できない大洪水が発生したときに、洪水流量を最終調節するための設備です。

今後の浜田ダムの洪水調節は、下流に第二浜田ダムが建設されたことに伴い、浜田川の洪水調節機能が増加し、浜田ダムの設計洪水流量が現在の $552\text{m}^3/\text{秒}$ から $850\text{m}^3/\text{秒}$ と増加します。そのために既存のクレストゲートの撤去、並びに越流部分のコンクリートの取り壊しが必要となります。

クレストゲートは操作室を解体した後、構台上の大型クローラークレーンにてクレストゲートを吊上げ、トラックに積み込み可能な大きさに切断し搬出、※再資源化(リサイクル)されます。

越流部分のコンクリートは、ダムに孔(あな)をあけ、コンクリートを切断する特殊な機械(ワイヤーソー)にて切断します。切断されたコンクリートはブロックごとに分けられ、大型クローラークレーンにて吊上げ、トラックにて搬出、同じく再資源化されます。

今後も引き続き、様々な撤去工事を進めてまいります。細心の注意を払い作業いたしますが、重量物吊上げ時は安全のため必要に応じて通行車両の一旦停止等の規制を掛けさせていただく場合がございます。

地域の皆様におかれましては何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

※再資源化(リサイクル)・・・処理された資源の全部または一部を原料として再利用すること。ゲートは鋼材(鉄筋や鉄板等)の原料、コンクリートは骨材(碎石等)の原料として再利用される。



クレストゲート撤去状況



越流部コンクリート撤去状況

■地域レクリエーションへの参加

『第18回島根県雪合戦大会』

1月30日～31日にアサヒテングストンスキー場で行われました『第18回島根県雪合戦大会 雪合戦 旭 2016』に昨年に引き続き参加しました。浜田ダム再開発JV職員と第二浜田ダムJV職員の混成チームとなり、第二浜田ダムチーム初参加からの出場回数は通算7回を数えます。

今回のJV混成チームは皆で楽しむ『フレンドリーリーグ』に参加し、なんと予選リーグを2連勝し、決勝トーナメントに駒を進めることが出来ました。ですが決勝トーナメントは残念ながら一回戦で敗退となりました。

チームの平均年齢が40才と、若い(?)チームでしたが、日ごろの運動不足がたたって、試合で息が上がった選手もちらほら(全員?)見受けられました。セット数は7回を数え、翌週の出勤時は皆、体のどこかになにかしらの違和感を訴えていました。

リーグ戦開始前に実施された招待チームによるエキシビジョンマッチは、さすが全国大会に出場しているチームらしく、選手の動き、連携、統率がとれており、非常に見ごたえがありました。日ごろの運動、練習はやはり大事ですね。

今後も地域で開催されるイベントに積極的に参加させていただき、地元の方々と楽しい時間を共有できればと考えております。



試合開始前の余裕の団楽



雪玉作り(闘魂注入中)



意気(息)上がる選手たち

発行・お問い合わせ先

鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体 浜田ダム再開発工事事務所 HPアドレス <http://renew-hamadadam.jp/>

〒697-0011 浜田市後野町2246-31(第二浜田ダムJV事務所内) TEL.0855-25-5356 FAX.0855-25-0077